

10月定例山行

10月19日 三段峡

参加者 23名

CL上別祖 SL 宮木澄

宮木一、松尾、中野カ、
中野ミ、熊野、佐々木敏
宍戸、村島、原田、熊谷オ、
中谷、白川、幾久、成広、
林、中島ヤ、坂本、横地、
坪倉、坂井、国本

コースタイム

県庁北7:40⇒聖湖口(9:05~9:20)→三ツ滝9:30→餅ノ木口10:05→三段滝10:55
→猿飛11:50→二段滝(昼食11:55~12:45)→猿飛12:50→黒淵14:30→
三段峡正面口(15:10~15:20)⇒県庁北16:20



○

快晴に恵まれ聖湖口～三段峡入口まで、溪流に沿って歩く。遊歩道を23名一列の長い列になる。時期的に紅葉には、早かったが、なぜか三段の滝の周囲は、ほどよく色をつけて、やさしくお化粧を始めたようで印象に残っている。

今回のハイライト、岩と岩の間を渡し船で二段の滝へ…。沢の水は、どこまでも澄みきって、とても冷たい。この辺からは、観光客も多く、渡し船を待つ。

皆さんよく歩かれました。狭いセメントで固めた道を、5時間は歩いたでしょうか。予定よりずいぶん早く三段峡正面口に到着。

三ツ滝 玉緒滝 二段滝 三段滝などの渓谷美を堪能し、予定していた三段峡の見どころはすべて踏破し、満足の日でした。(記 上別祖邦子)

○

半年振りの山行で寝坊が恐ろしく真夜中の起床となった。国鉄労組の列車[もみじ号]で何度か訪れてはいたが、聖湖

から川の流れて沿って長時間の山行に少し不安がよぎった。

時々立ち止まり振り向いて景色を愛でたりした。寝不足の頭に滝音や川音が心地よく響いてくれた、中間点を横道に入り猿飛びの渡し船を降り二段滝で昼食。

秋日和とは云え滝水の勢いのせい少し冷えてきた。食後の松尾さんの石の話は大変面白かった。又「穴のあいた黒い石を探してごらん。」石の下に見つけると「これは石ではなく昔の製鉄のクズです。たたらのはの材木の伐採による流砂がひどく毛利元就が禁止令を出したんです。」素人の私にも良く分かった。

猿飛から三段峡駅までの歩きは早く、途中休みが欲しかった。

昔遊んだ場所を探すと入口から少し入った所だった。(ナーンダ)。日本五大名峡の一つ、三段峡のスケールの大きさを身をもって知った思い。山々は紅葉には少し早かったが、移り行く季節の優しい息づかいに包まれた気持ちに満足した。

(記 坪倉民子)